

み山かい

新しい風

立憲民主党沖縄県連合

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目3-20 石川ビル4階

TEL: 098-833-9411 FAX: 098-833-9412

立憲民主党参院比例第一総支部

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館416号室

TEL: 03-6550-0416 FAX: 03-6551-0416



RIKKEN
MINSHU
号外

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel.03-6811-2301
Fax.03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/



玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝

今年6月7日投票の沖縄県議選で8979票、4位(定数11)で当選させていただきました。また南部離島7つのうち、久米島では地縁性もないので、トップの得票をいただきました。過中で多くの有権者から票とは残念で、今後の課題を託していただきたいことではありますが、そんなことは残念で、今後の課題を託していただきたいことには身が引き締まる思いです。

選挙戦を通して強く感じたことは、女性の議員が増えることへの期待です。これは男女間わず多くいだいたい声で、今の政治に対する有権者の疑問です。

玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝

当選報告 きゆな智子

(那覇市・南部離島区)

来年7月那覇市議選に向けて

来年2021年7月には、歴史的課題。日本が抱える大きな矛盾です。同時に、日々の生活課題、主党は2018年8月にいます。那覇市議選が予定されています。那覇市議会は定期的に開かれ、ほとんどの議員は立憲民主党との合流です。他の野党との合流でも、「議会改革度調査でも、2019年(早稲田大学マニフェスト研究所)で11位となり、議会改革で高い評価を受けています。また約20年間、市民と行政がともに地域課題を取り組む「協働のまちづくり」を積極的に進めました。初の女性那覇市長として市政運営を行いました。女性議員の誕生を、ひだり親自線からの政策提案を、立憲民主党初の県議案を、立憲民主党初の県議を。そんな皆さんの期待に応える仕事をしていきます。

玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝



立憲民主党は那覇市議会に複数名の議員を新たに送り出し、とともに政治活動ができる仲間を増やしていく話していただけたから興味を持った」という声もありました。

女性議員の誕生を、ひだり親自線からの政策提案を、立憲民主党初の県議案を、立憲民主党初の県議を。そんな皆さんの期待に応える仕事をしていきます。

玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝

立憲民主党は那覇市議会に複数名の議員を新たに送り出し、ともに政治活動ができる仲間を増やしていく話していただけたから興味を持った」という声もありました。

女性議員の誕生を、ひだり親自線からの政策提案を、立憲民主党初の県議案を、立憲民主党初の県議を。そんな皆さんの期待に応える仕事をしていきます。

玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝

立憲民主党は那覇市議会に複数名の議員を新たに送り出し、ともに政治活動ができる仲間を増やしていく話していただけたから興味を持った」という声もありました。

女性議員の誕生を、ひだり親自線からの政策提案を、立憲民主党初の県議案を、立憲民主党初の県議を。そんな皆さんの期待に応える仕事をしていきます。

玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝

立憲民主党は那覇市議会に複数名の議員を新たに送り出し、ともに政治活動ができる仲間を増やしていく話していただけたから興味を持った」という声もありました。

女性議員の誕生を、ひだり親自線からの政策提案を、立憲民主党初の県議案を、立憲民主党初の県議を。そんな皆さんの期待に応える仕事をしていきます。

玉城デニー県知事ときゆな智子の街頭宣伝

きゅな智子 県議会の「へえ～っ」



初登庁のきゅな智子

おもしろい「休憩」

話し合うスペースにも利用できます。議場での「へえ～っ」はありますか。

初の県議会で活動を始めて、「へえ～っ」ということがあります。

知つてはいましたが、議会棟には国会の議員会館のような議員個室があるんです。おそらく、県議会では沖縄だけではないでしょうか。それほど広くはありませんが、議会の書類を保管したり、

議会質問を考えたり、仕事に集中できますね。

議員個室は琉球立法院時代からもので、議員はそれ自身独立した存在だということでしょう。

大田昌秀知事時代に議会棟の建て替えがあったのですが、大田知事は「立法院時代の思想を受け継ぐ」と残したそうです。

県民の陳情や相談などをとがあります。また、時

でも委員会でも、議員からも県当局からも、議長、休憩」という発言が出てきます。「休憩」の間の会話や議論は議事録を作りません。質疑時間の決まっている本会議では、質問中の議員が資料や原稿の見直しの数秒の時間でも質問時間が過ぎてしまわないよう

涙と決意のデビュー

○…県議選当選後、初の一般質問に臨んだ喜友名智子氏（ついいだネット）。冒頭、東京都大田区で3歳の女の子が1週間放置されて亡くなり、母親が逮捕された事件に触れ「本当に残念だ」と議場で涙を流した。自身も幼い長男を育てるシングルマザーで悲しみは育てた様子。だが「沖縄でもこのようことが起きないよう、政治も行政も一緒に取り組まねばならない」と決意を述べた時には、母親から政治家へ気持ちを切り替えたのか目に涙はなかった。

「琉球新報」より

女性議員を増やそう

もう一つは「あるある」です。やはり女性議員が少ないと。定数48人中、女性は7人。14・5%はいかにも少ない。世の中は男女半々なので、女性の意見を反映させるためにも女性議員が増えてほしい。「きゅなさんは、子育てしながら大変ね」と勉強です。

か、「政治に関心があるけれど、子どもがいるから議員なんてできない」と。少なくとも、沖縄タイムス」「琉球新報」のコラムで紹介されていました。効率よく審議を深める。先輩議員を見習って、まだまだ

間制限のない各委員会では、事実確認や意見のすり合わせで「休憩」を求めることが多いです。そして、ある程度の話し合いが終わったら委員会再開。一つの知恵なんだ、と思いました。

—きゅなさんの初質問がああ、と思いました。

答弁時間は5分、余らせ

てしましました。効率よ

く審議を深める。先輩議員を見習って、まだまだ

6月の定例議会で初質問させていただきました。緊張するよりも時間配分です。質問と答弁を合わせた時間制限ですが、私の質疑は執行部の答弁時間を5分、余らせてしましました。効率よく審議を深める。先輩議員を見習って、まだまだ

これまで私は、民主

党→民進党→立憲民主

党と新しい政党ができるたびに、2大政党が始まる」と期待しましたが、国政レベルで選舉に負けると地元の期待もしぼむ。一度も経験してきました。

まずは足元固めです。政

党ですから中央の政治に左左されるのは仕方がないのですが、中央がブレたとしても沖縄は踏ん張る。そんな組織作りが必要です。

有田芳生県連代表VS大城竜男幹事長「3つの課題」



有田芳生県連会長（右）と大島竜男県連幹事長

豊かな沖縄の歴史と哲学

イさんを呼んで話してもらい、「地元の人には「〇〇先生が来るから」と誘う。いわば中央頼み。それが有田さんは「まず琉球の文化、歴史から学ぼう」と言い出した。これは政党活動としては新鮮でした。

有田 沖縄の文化的な豊かさは、どの県にも負けません。全国でこれほど小さな出版社がある県はないのです。そんな歴史と文化に根ざした政治が今、必要なのです。

大城 沖縄の歴史・文化に根づいた政党の組織作り。そしてその力で沖縄の課題を解決していく。やるべきことは無尽蔵ですね。

いじけない。県連会長が三番目の課題です。去年から始めた「琉球・沖縄セミナー」はそんな試みの一つです。セミナーだけでなく朗読劇、さらには琉球・沖縄文化のフェスティバルもやってみたいと考えています。

有田 新しい合流新党に問われているのは、綱領の背骨にあたるビジョン、つまりこの国をどう machen Sie ein besseres Leben für alle Menschen. Das ist eine sehr wichtige Mission.

大城 有田代表が「琉球・沖縄セミナー」を始めた時、正直、ピンときませんでした。私のこれまでのセミナー、集会で

解説しなくてはなりません

有田 立憲民主党と国民党の個別の政策・課題を解説しなくてはなりませ

ん。これが二つの課題です。去

とです。来年の那覇市議

選挙、さらには統一地方

選挙で政治課題解決と組

織拡大を同時に進める戦

いだけではなく朗読劇、さら

には琉球・沖縄文化の

フェスティバルもやって

みたいと考えています。

大城 有田代表が「琉

球・沖縄セミナー」を始

めた時、正直、ピンとき

ませんでした。私のこれ

には琉球・沖縄セミナー、集会で

やるべきことは無尽蔵で

拉致 沖縄 ハイトスピーチ

国会で仕事をするようになつて11年目に入りました。テレビのコメントテーターが12年半ですから、その時間に近づいてきました。国会を外から見てゐるのではなく、内閣から報告したい。いちばん取り組みたいと思つたのは、今までも変わりませんが、北朝鮮による拉致問題です。

拉致特別委員会ではじめて質問をしたときは、横田早紀江さんがわざわざ傍聴に来てくれました。いまでも意外なことは、拉致問題を真正面から首相に問う議員がほぼいないことです。拉致問題は多くの質問のなか

(多くが日曜日)を伝えています。

国会で仕事をするようになつて11年目に入りました。テレビのコメントテーターが12年半ですから、その時間に近づいてきました。国会を外から見てゐるのではなく、内閣から報告したい。いちばん取り組みたいと思つたのは、今までも変わりませんが、北朝鮮による拉致問題です。

拉致特別委員会ではじめて質問をしたときは、横田早紀江さんがわざわざ傍聴に来てくれました。いまでも意外なことは、拉致問題を真正面から首相に問う議員がほぼいないことです。拉致問題は多くの質問のなか



国政報告 有田芳生参院議員 取り組んできた課題

ヘイトスピーチ、許さない。

STOP HATE SPEECH

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会

人権啓発スポット映像「ヘイトスピーチ、許さない」
※YouTube法務省チャンネルにリンクします。

る。「地元の行事があるから」で終わります。ヘイトスピーチがいちばんひどかった2013年の春ごろ、ちょうど院内集会を準備していたとき、自民党の河野太郎さんに協力を求めたことがあります。「あんなのは放っておけばいいんです」とそう言われました。なまじをいまも忘れませ

り組んでいます。

沖縄にはじめて足を踏み入れたのは、「朝日ジャーナル」の取材でした。1986年に2週間滞在して「天皇と沖縄」特集に4ページ書かせてもらいました。渡嘉敷の集団強制自決の現場に立ち、当事者にもお話を伺いましたが、あの暗いま

—政権交代のために組織を地道に広げたいと思っています。沖縄を中心や北朝鮮に関係する組織が動かしているといつた無理やり創作した陰謀論がありますが、その根柢にも差別意識があります。私が取り組む課題は、根っこでつながっているのです。

の部分にすぎません。拉致問題を解決するのは政府の課題であり、一議員や野党では限界があります。それでも独自に行動することができます。リスクを負ってでも行動する覚悟が必要です。二度の訪朝（2012年、15年）については来年出版予定の単行本で触れるつもりです。

拉致特別委員会ではじめて質問をしたときは、横田早紀江さんがわざわざ傍聴に来てくれました。いまでも意外なことは、拉致問題を真正面から首相に問う議員がほぼいないことです。拉致問題はいましたが、日程



沖縄でもヘイトスピーチ対策条例を

高校生時代に沖縄返

まります。

沖縄立憲民主

の仕事をするようにな

り、子孫の貧困、虐待、

シングルマザーの苦悩な

ど、若き世代への思いが

募ります。そして辺野古

新基地建設をやめる近道

です。14歳の少女が「鶴橋

大虐殺をやりますよ」と

マイクで叫び、「良い韓

国人も悪い韓国人も皆殺

し」などという異常なブ

ラカードが街頭でまかり

通っていました。

いまでは「ヘイトス

ピーチ」という言葉が広

く報じられ、一般的に知

られるようになりました

が、2012年の1年間

で新聞に登場したのは、

私が知る限り、たった

1回です。ヘイトスピーチとは何でしょうか。自分では変えることができない属性、たとえば人種、民族、性的指向、性別などを理由に差別する言動のこと、マイノリティ（少数派）への攻撃です。いまでも「憎悪表現」とする報道もありますが、人種差別撤廃条約に基づいて正確に表現すれば、「差別の煽動」です。

ヘイトスピーチ解消法には限界があります。理

念法ですから罰則がない

のです。ところが攻撃を

ます。

ヘイトスピーチ解消法動きに対して全国に先駆けて罰則付きの条例を制定し、すでに施行しています。川崎市はそれらの対策条例を制定する声が広がりつつあります。人間の尊厳を守ることは、民主主義社会の基本で

伊江島

阿波根昌鴻さんの聞い



阿波根昌鴻さん（撮影・国吉和夫）

今年7月3日から8月3日まで、宜野湾市の佐喜真美術館で「沖縄の縮図 伊江島の記録と記憶」展が開かれた。伊江島は沖縄戦で日本軍と米軍との激しい戦闘が行われ、島民の約3分の1が犠牲になり、島ごと米軍に占領された。そして戦後の1955年からは米軍の有無を言わざぬ強制収容。「銃剣とブルト」

ザー」で島のほとんどが米軍の演習・射爆場になってしまった。

その戦いの先頭に立ち、島民の精神的な支えになつたのが阿波根昌鴻さん（1901～2002）である。土地を取られ、畑を焼き尽くされ、生活の手段を奪われた伊

江島の人々が始めたのが「乞食行進」。ダンボール紙に「乞食をするのは恥

ずかしい。しかし、土地

を取り上げた米軍はもつ

と恥ずかしい」と書いて

掲げた行進。沖縄全土を

歩いた伊江島の島民に、

沖縄の人は強く共感し、

戦後沖縄の民衆の《抵抗》

の原点となった「島ぐるみ土地闘争」の起爆剤になつたという。

阿波根さんは、当時の戦いの記録を詳細にメモ

り、さらにみずからカメ

ラで戦いを撮り続けた。

佐喜真美術館ではそんな

ノートと写真80点が展示

された。過酷な戦いの中

た阿波根昌鴻さん。彼の

100年の人生には、し

たたかで粘り強い沖縄の

原点があふれている。

（ジャーナリスト
二木晴彦）



撮影・沖縄アジア国際平和芸術祭実行員

米軍と銃剣で島を奪った力



立憲民主党

大胆な経済・生活対策を

立憲民主党的枝野幸男代表は8月31日記者会見を行い、「一強と呼ばれる状況の反省と教訓を踏まえ、政治の流れを反転させたい」と決意を述べた。とりわけ、安倍政権の格差拡大政策とコロナ禍での厳しい国民生活に対して、思い切った3つの経済対策が必要だと表明。「1つ目は消費税の税率引き下げ、あるいはゼロ税率すること」で、低所得者の皆さんへの配慮と消費を喚起するアプローチ。もう1つは消費のボリュームグーンである中

間層の所得税を免除する、コロナ禍による消費低迷状況での解決策、と3つ目は、低所得者の皆さんに対して、一番直接的に接的な大きな支援は定額給付です。これを制度化してしまう。今回は1回限り10万円といふことで、現場の事務作業も短期間ということで混乱しました。これを制度化して、格差が深刻な状況、

リユームグーンである中で、格差が深刻な状況、機に、国民の視点からのと、新しい野党の結集を